

第7期科学技術・イノベーション基本計画に 向けた検討案

令和7年1月27日
科学技術・学術政策局
産業連携・地域振興課

知の価値化（成果の社会への還元）について

- 多くの有望な技術シーズが様々な地域の大学等から生まれ、社会実装が進みつつあるが、その一層の促進のためには、大学発スタートアップの創出・成長を実現できる**イノベーション・エコシステムの構築と産学官共創拠点の強化**が必要。
- 大学発スタートアップは、**アントレプレナーシップ教育の質・量の不足**、時価総額が小規模にとどまるなど**創業後の成長の伸び悩み**、**スタートアップ投資の不足**（特に成長段階の投資が不足）等の課題がある。
- 次期基本計画期間では、研究成果の「知」を社会に実装するため**大学の技術シーズを活かしたスタートアップの創出を促進し、創業後の成長支援までの一貫通貫の取組**とともに、未来を担う若手が各地域で中心となって技術シーズの社会実装を推進する**産学官共創の場を醸成**する。

人材

アントレプレナーシップ教育の質・量の不足

- ✓ 若年層の**起業関心層の割合は2割と高いが**、在学中を通じた教育の提供割合は、**小中高生の約1%**（約10万人）、**大学生の約10%**（約40万人）と限定的。
- ✓ **実践的な教育を実施する大学も約10%**と少ない。

	地方	都心部
29歳以下	20.6%	19.8%
30歳代	30.8%	22.5%
40歳代	28.0%	26.6%
50歳代	15.0%	21.6%

スタートアップ起業意欲の割合

出典：「地方における起業への関心と起業意欲」
（2023年11月、日本政策金融公庫）

創業

創業後の成長の伸び悩み

- ✓ 大学発スタートアップを含む国内トップユニコーン企業の**評価額は海外と比べ小さい**。
- ✓ 大学発スタートアップ数は、過去最大まで増加しているものの、**成長の伸び悩みが課題**。
- ✓ 今後は、**グローバル市場を見据えた創業**だけでなく、創業後の**「成長」に向けた支援も課題**。

企業名	評価額 (10億\$)	企業名	評価額 (10億\$)
Preferred Networks (東大発)	2.0	ByteDance	225
スマートニュース	2.0	SpaceX	150
SmartHR	1.6	OpenAI	80
Spiber（慶応大発）	1.22	SHEIN	66

ユニコーン企業（上位）の国内外比較

出典：CB Insights「The Complete List Of Unicorn Companies」

成長

スタートアップ投資の不足

- ✓ 大学発スタートアップ（大学等の研究成果のライセンスに基づくもの）の**年間創出数は米国の1/10まで増加**。
- ✓ 一方、**スタートアップ投資は米国の1/30と資金調達に課題**。
- ✓ 国内スタートアップはM&AによるEXITが少なく、**大企業の資金を成長に十分に活用できていない**。

日本	アメリカ
大学発スタートアップ創出数 約100社／年	大学発スタートアップ創出 約1000社／年
スタートアップ投資額 約0.9兆円	スタートアップ投資額 約24兆円
M&A 約30% IPO 約70%	M&A 約90% IPO 約10%